

第1学年1組 道徳学習指導案

日 時：平成29年12月14日

場 所：多目的ホール

指導者：教諭 木村 さち

1 主題名 よいと思うことはすすんで（A－（1）善悪の判断，自律，自由と責任）

2 主題について

（1）ねらいとする価値について

本主題は内容項目A－（1）「よいことと悪いことの区別をし，よいと思うことを進んで行うこと。」をねらいとしている。よいこと，正しいことについて，人に左右されることなく，自ら正しいと信じてるところに従って行動することは，人として重要なことである。特に，価値観の多様な社会を主体的に生きる上での基礎を養うために，低学年のうちに，よいことと人間としてしてはならないことを判断する力を養うことは大切であると考え。

しかし，悪いことと知りつつも周囲に流されてしまったり，自分の弱さに負けてしまったりすることもある。そこで，この時期に児童一人一人に行ってよいこと，人間としてしてはならないことが区別できる力を養うとともに，よいと思ったことは恐れずに勇気を持って行おうとする心情をしっかりと育てたいと考え，本主題を設定した。

（2）児童について

①意識調査の結果より

本学級は男子8名，女子5名，計13名の学級である。明るく活発な児童が多く，授業中も積極的に挙手・発言をする児童が多い。休み時間には，男女関係なく外遊びをする姿が見られる。

小学校での生活も約8か月が過ぎ，学校生活にも慣れてきており，約束やきまりを理解し，守ろうとしている。しかし，友達に流されてしまったり，注意できなかつたりすることがある。また，注意することができてもきつい口調になってしまうことが見られる。

事前アンケートの結果は以下の通りである。

質問	回答
1. 人としてよい行動にはどんなことがありますか。 (複数回答あり)	・お手伝い・・・・・・・・・・7人 ・言われた事をすぐにやる・・・・・・・・5人 ・好き嫌いをしないでご飯を食べる・・・・1人 ・自分で使ったも物は自分で片付ける・・・・3人
2. してはいけないことにはどんなことがありますか。 (複数回答あり)	・自分で使ったものを片付けない・・・・・・・・5人 ・言われた事をやらない・・・・・・・・4人 ・悪口を言う・・・・・・・・・・3人 ・無視する・・・・・・・・・・3人

3. (1) してはいけないと分かっているけど、やってしまったことはありますか。	・ある・・・・・・・・・・・・・・・・・・10人 ・やりたいと思った事がある・・・・・・・・・・2人 ・ない・・・・・・・・・・・・・・・・・・1人
3. (2) それはどんなことですか。 (複数回答あり)	・廊下を走った・・・・・・・・・・・・・・・・・・5人 ・頼まれたのにやらなかった・・・・・・・・・・5人 ・お手伝いをしなかった・・・・・・・・・・6人

「してはいけないと分かっているけど、やってしまったことはありますか。」の項目では、「ある」と回答した児童が10人と多いことが分かる。そのため、よいと思ったことは勇気を持って行おうとする心情を育てていく必要性があると捉える。

②自分の考えや意見を伝え合う様子より

本学級では、学活や道徳の時間などを活用し、意見を交流する活動を実践している。1学期は発言意欲が高い児童が多く、積極的に自分の考えを伝えることができる。一方で自分の考えを伝えたいという意欲が強く、友達の考えを聞くことが課題であった。しかし、意見を交流する活動にも慣れ、「〇〇さんに質問があります。」など、友達の考えを聞くことができるようになってきている。

(3) 資料について

①資料名 「ぼんたとかんた」 出典：「わたしたちの道徳 1・2年」 文部科学省

②価値 A— (1) 善悪の判断・自律・自由と責任

③資料について

仲良しのぼんたとかんたは、公園で一緒に遊んでいたが、ぼんたが止めるのも聞かず、かんたが入ってはいけない裏山へ入って行ってしまふ。ぼんたはじっと考えて、大きな声で「ぼくは行かないよ。だってあぶないから。」と叫ぶ。その声に驚いて、かんたが裏山から飛び出してくる。そして2人は裏山には行かないことに決め、気持ちよく公園で遊ぶ。

場面は違っても、児童の日常生活にも似たようなことがあるので、自分自身のことと重ね合わせて2人の思いを想像しながら、よいことを進んで行うことについて考えることが出来る資料である。

④資料分析 (別紙)

(4) 指導にあたって

導入部では、資料の内容をより自分の事として捉えられるようにするため、「悪いと分かっているけどやってしまったこと」について、自分の経験を基に意見の交流をしてから資料に入る。

資料提示は、場面をイメージしやすいように挿絵を提示しながら読み聞かせを行う。秘密基地については補足説明をしながら、だれもが行ってみたい場所、ワクワクする場所であることを押さえる。

展開部で、役割演技を行い、資料を自分の事として考えられるようにする。また、役割演技の

後に意見の交流を行う事で、「危ないから行ってはいけない。」という思いと、「仲良しの友達と一緒に遊びに行きたい。」という思いで葛藤しているぽんたの気持ちを考えさせる。さらに、ぽんたの判断を基に、自分だったらどうするのか考えさせる。

(5) 宮城県学力向上に向けた5つの提言との関連性

本主題では、「学力向上に向けた5つの提言」を踏まえて、次のような学習活動を設定する。提言1・2を踏まえ、児童に考えを積極的に発言させ、考えを取り上げて、ほめたり、認めたりする。提言4を踏まえ、友達との話合いの後にワークシートに自分の考えを書く活動を設定し、振り返りをさせる。

提言1：どの子供にも積極的に声掛けをするとともに、子供の声に耳を傾けること。

提言2：子供をほめること、認めること。

提言4：自分の考えをノートにしっかり書かせること。

3 校内研究との関わり

(1) 研究主題

思いやりとたくましさを持つ児童の育成
～自他との対話の中で考えを深める授業実践を通して～

(2) 研究の視点との関わり

【視点1】道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、考えを深める授業展開の工夫

②中心発問で書く活動を取り入れ、考えを明確にさせる。

③児童が多様な考え方・感じ方に触れ、自己を見つめるために、役割演技を行い、意見の交流の場面を設定する。

【視点2】意識調査、自己評価の活用の工夫

①ワークシート内に振り返りの項目を設定し、自己の振り返りをする。また、毎時のワークシートは、「こころのあしあと」ファイルにファイリングし、児童自身も自己の成長や変容を自覚できるようにする。

②意識調査を吟味・作成し、実践に活かすとともに、学習を通して考えたことや分かったことを記入させ、これからの生活や学習にいかしていこうという気持ちを持たせるためにワークシートの形式を工夫する。

4 本時の指導

(1) ねらい

よいことと悪いことの区別をし、よいことを進んで行おうとする心情を育てる。

(2) 準備物

教師：ワークシート、お面、掲示用挿絵

児童：筆記用具、わたしたちの道徳1・2年

(3) 指導過程

段階	学習活動・予想される児童の反応	○指導上の留意点 ◇評価 【■5つの提言】 (視点1-① 校内研究の視点)
導入 5分	<p>1. 自分の経験について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">悪いと分かっているけど、してしまったことはありますか。</div> <p><廊下を走ってしまったとき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・つい廊下を走ってしまった事があった。 ・早く遊びに行きたくて走りたくなった。 (どうすればよいのか) ・誰かにぶつかる危険だから、歩いて行こう。 <p><やってと言われたのにやらないとき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームを優先して、すぐできなかった。 ・面倒くさいなと思ってやらなかった。 (どうすればよいのか) ・お願いされたらすぐにやろう。 ・すぐにやってあげれば、相手も喜んでくれる。 	<p>○事前に聞いていたアンケートの内容から、してはいけないと分かっているのに、ついやってしまった経験について話し合う。(視点1-③, 2-②) 【提言1・2】</p> <p>○なぜしてしまったのか、どうすればよいのかも考えさせ、今後の生活に生かしたいという気持ちを持たせたい。</p> <p>○よいと思うことを進んで行うことは、自分のためだけではなく、相手や周りの人のためにもなることに気付かせたい。</p>
展開 35分	<p>2. 「ぼんたとかんた」の話を聞く。</p> <p>3 「ぼんたとかんた」の話について役割演技を行い、考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「2人で行こうよ。」と誘われた時ぼんたはどんなことを思ったでしょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に秘密基地に行きたいな。 ・秘密基地ってどんなところだろう。 ・行かないと言ったら嫌われるかな。 ・行きたいけど、行ってはいけないと言われているし、どうしよう。 ・危ないよ。 ・行ったことが分かったら、怒られるかもしれないよ。 ・行ったら怪我をするかもしれない。 	<p>○あらすじを捉えやすいように、挿絵を提示しながら読む。</p> <p>○ぼんたとかんたの2人は大の仲良しであることをおさえさせる。</p> <p>○自分の考えを明確にさせるため、ワークシートに記入させる。 (視点1-②)</p> <p>○役割演技を行うことで、資料を自分の事として考えられるようにする。(視点1-③)</p> <p>○教師：かんた役 児童：ぼんた役に分かれて役割演技を行う。</p> <p>○面の後ろにセリフを書き、演技させる。</p> <p>○挿絵の表情から、ぼんたは困ったり悩んだりしている様子を捉えさせる。</p>

	<p>○ぼんたの葛藤している気持ちについて考えさせるため、役割演技を行った後に、全体で意見の交流を行う。</p> <p>◇悩んでいるかんたの気持ちになって表現できたか。(ワークシート, 発表)</p>	
	<p>「行かないよ。」と言ったぼんたをどう思いますか？</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼんたはすごいな。 ・ぼんたえらいね。 ・自分だったら、友達の誘いを断れずに行ってしまうかもしれない。 ・仲良しの友達の誘いを断ったら、嫌われるかもしれないと思って、断れない。 ・自分だったら、はっきりダメだよと教えてあげる。 ・行ってはだめだよ、とかんたに教える。 	<p>補助発問</p> <p>「なぜ、大きな声で言ったのでしょうか。」</p> <p>「自分だったらどうしますか。」</p> <p>「仲良しの友達でも言えますか。」</p> <p>○自分がぼんたの立場だったら、どうするのか考えさせることで、今までの自分の経験を振り返らせる。</p> <p>○「大きな声で言いました。」というぼんたにも着目させ、行きたい欲求を振り切ろうとしたり、かんたにも裏山に行くのをやめてほしいと思ったりしているぼんたの気持ちに気付かせる。</p> <p>◇かんたに伝えるためだけでなく、自分の欲求にも勝とうとしているなど、多面的に捉えることができたか。(発言)</p>
	<p>仲良くブランコに揺られている2人はどんなことを考えていたでしょう。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に遊べてうれしいな。 ・秘密基地に行っていたら、怪我をしていたかもしれない。行かなくて良かった。 <p>4. ワークシートに記入する。</p>	<p>補助発問</p> <p>「もしも、2人で秘密基地に行ったらどうなっていたでしょう。」</p> <p>○挿絵の表情から、2人はすがすがしい気持ちになっていることを捉えさせる。</p> <p>◇よいことと悪いことの区別をし、進んでよいことを行おうという気持ちを持つことができたか。(発表)</p> <p>○ブランコに揺られている2人の気持ちや、秘密基地に行った場合の2人を考えることで、よいと思うことを進んで行動できたときの気持ち良さに気付かせたい。</p> <p>○本時の学習で、思ったこと、気付いたことなどを書かせる。(視点1-②, 2-①) 【提言4】</p>

		◇よいことと悪いことの区別をし、進んでよいことを行おうという気持ちを持つことができたか。(ワークシート)
終結 5分	5. ワークシートの内容を発表する。	○意図的に指名し、発表させる。 ◇よいことと悪いことの区別をし、進んでよいことを行おうという気持ちを持つことができたか。(発表)

(4) 評価計画

よいことと悪いことの区別をし、進んでよいことを行おうという気持ちを持てたか。
(発言・表情・ワークシート)

(5) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">挿絵</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ けがをしなくてよかった。 ・ いっしょにあそぶとたのしいね。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">挿絵</div> <p>「ぼくはいかないよ。だつてあぶないから。」</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">挿絵</div> <p>「二人で行こうよ。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いきたいな。 ・ どうしようかな。 ・ いかないほうがいいよ。 ・ ぼくはいかないよ。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">挿絵</div> <p>大のなかよし</p>	<p>ぼんたとかんた</p>
--	---	---	--	----------------